放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年　3月　1日　　事業所名　レジリエンス・スポーツクラブ　職員数：6（パート含む）回収率6　割合：100％

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	0		2階の天井が低い。仕切った時のスペースが大きい子だと狭いと感じると思う。 →レッスン内容を工夫して運動できるようにしていきます。
	2	職員の配置数は適切である	5	1	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	0		階段が多い。今後、車いすの利用者などスロープなどが必要だと思う。 →必要に応じて、改修、補修していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	1	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	サークルや小集団レッスンで得たご意見を踏まえてプログラムを工夫している。	今後もアンケートなど利用者の意向も把握し、業務改善に努めてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	3	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2	0	リモートでの研修を取り入れている。	コロナで去年より研修が減った気がする。オンラインでの研修を今後も活用していけるといいと思う。 →コロナ対策をしたうえで、3蜜にならないようにオンライン研修を増やし、全体研修だけでなく、スタッフ同士でのワークなども含め、資質向上に努めてまいります。。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		会議の時間をもっと確保して行いたい。 →会議できるよう場を設定していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	3	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2	0	振り返りの中で出た意見（利用者・スタッフ）を次回のプログラムに取り入れるようにしている。	今後も活動プログラムが固定化しないように、研修やワークなどで個々の質の向上に努めてまいります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4	2	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	0		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	0		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4	2	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	2	0		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3	3	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	4	0		対象者がいないのでよくわからない。 →対象者がいた場合は、担当者会議や保護者からの情報（医療機関）も取り入れながら援助していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	2	0	レジスポSSに加えて、レジスポサークルが新たにスタートしている。	今年度からスタートしたサークルでは受給者証を持っていないきょうだい、いことも受け入れています。今後は地域の方も参加できるように対象を拡大していく予定です。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	5	0		管理者・児童発達管理責任者が連携していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	2	4	0		
保護者への説明責	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	0	コロナ感染予防のため、ZOOMで開催している。	コロナの感染状況にもよりますが、対面だけでなく、オンライン開催など、より参加しやすいように曜日や時間帯、内容などを検討し日程調整していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	0		
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5	0		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	1		年に2回実施しています。また、実施報告をブログ等で発信していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	0	保護者から情報を得ている(アセスメントや対象児用のおやつを準備している)	毎回提供しているおやつにつきましては、保護者からの指示に基づいて対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	4	0	ビデオやレッスン記録、振り返り、所内研修を通して確認している。終礼でも申し送りをして情報九をしている。	ヒヤリハット事例集の作成と検討会については必要に応じて行っていますが、今後も事故報告書やビデオ映像、レッスン記録、振り返りを継続しながら、ワークや研修等を通して、さぽーと共有していきます。